

一般社団法人 日本専門医機構  
第5期第6回理事会 議事概要

1. 開催日時 2022年11月18日（金） 16時00分～18時24分
1. 開催場所 日本専門医機構会議室（会場およびWEB会議）

I. 第5回理事会（10月21日開催）議事録の確認

渡辺理事長より、第5回理事会（10月21日開催）の議事録の確認が行われ、問題がある場合は申し出て頂くこととした。

II. 協議事項

1. 専門研修プログラム委員会

(1) 三重大学麻酔科へのサイトビジットについて

宮崎担当理事より、三重大学麻酔科に対するサイトビジットの結果、研修が問題なく行える体制が整ったと判断し、プログラム停止を解除することおよびプログラム再開が提案され、承認された。

(2) プログラム審査について

宮崎担当理事より、2023年度専門研修開始予定のプログラム申請件数は、更新プログラム3,068件、新規プログラム122件、プログラム廃止34件であることが報告され、合計3,156件のプログラムを機構認定専門研修プログラムとして認めることが承認された。

(3) ダブルボードについて(救急科⇔総合診療/内科⇒リハビリテーション科)

宮崎担当理事より、救急科と総合診療、および内科からリハビリテーション科へのダブルボードについて、それぞれの基本領域同士で協議し合意した事項が諮られ、承認された。

(4) 整備基準変更について

(総合診療領域①プログラム整備基準②カリキュラム整備基準/救急科・リハビリテーション科①カリキュラム整備基準)

宮崎担当理事より、総合診療領域のプログラム整備基準とカリキュラム整備基準、救急科のカリキュラム整備基準、リハビリテーション科のカリキュラム整備基準の変更について諮られ、承認された。

2. 専門医認定・更新委員会

(1) 内科COVID-19の影響による措置対応について

森担当理事より、内科学会からの内科領域におけるCOVID-19の影響下における措置の対象を1期生～4期生（2018年度～2021年度の研修開始）としたいという申請が諮られ、承認された。

(2) 機構専門医認定二次審査について

（臨床検査、内科、救急科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、病理、麻酔科、脳神経外科）

森担当理事より、機構の定めた認定基準に基づき学会の一次審査に合格した臨床検査（11名）、内科（1,518名）、救急科（234名）、泌尿器科（229名）、耳鼻咽喉科（188名）、病理（81名）、麻酔科（254名）、脳神経外科（154名）の専攻医について、委員会での二次審査の結果、機構認定専門医として新規認定したことが報告され、承認された。

(3) 休止・更新猶予について

森担当理事より、整備指針補足説明に記載されている専門医資格の休止の規定について、休止期間に5年間の上限を設けるという修正を行うことが諮られ、承認された。

(4) 専門医のシステム登録 トライアル状況報告・検討事項

森担当理事より、専門医のシステム登録について耳鼻咽喉科、脳神経外科、整形外科を対象にトライアルを実施し、概ね問題なく登録が行われたことが報告された。

なお、パソコンに不慣れな方において、本人確認のための医師免許証画像アップロードに支障を及ぼすケースが発生しているため、紙による提出を認めるなどの対応策を検討中であることが報告され、承認された。

(5) 補足説明の記載について（多様な地域）

森担当理事より、整備指針補足説明の「多様な地域における診療実績」の記載について、誤解を招く可能性のある表現を修正することが諮られ、承認された。

(6) 眼科学会の移行について

森担当理事より、眼科学会では学会専門医から機構専門医への移行を一斉に行う予定であることが報告され、承認された。

(7) 更新基準改訂案（脳神経外科・眼科）

森担当理事より、前回理事会にて保留となっていた脳神経外科および眼科で4回目の更新から手術実績の証明を免除する規定について、委員会にて継続審議を行い、3回以上の更新で診療実績を免除する規定を設けている領域は他にもあることなどから、認める方向で検討していることが報告された。

### 3. 地域医療・定員問題検討委員会

(1) 2023 年度シーリングについて

渡辺理事長より、2023年度のシーリング数（領域・都道府県別）が示され、承認された。

### 4. 医師専門研修部会について

(1) 厚生労働大臣からの意見及び要請に対する当機構からの回答案について

渡辺理事長より、医道審議会医師分科会医師専門研修部会が10月28日に開催されたこと、2023年度専攻医募集におけるシーリング案に対して、厚生労働大臣から当機構への意見・要請案が示されたことが報告された。

その後、厚生労働大臣の意見・要望に対する当機構からの回答書案が示され、審議が行われた。

最終的に、本日オブザーバーとして参加した厚生労働省医政局医事課長等から、回答書は日本専門医機構において検討・決定されるべきものであると認識している旨発言があり、その上で、上記の一文を削除したものを回答書とすることが承認された。

なお、監事より、定員設定の際のシーリングについては導入後その効果を評価・検証するという話であったが、足下充足率を始めほかの要素も加わったことでシーリングそのものの効果判定がしづらくなっていることから、当機構理事会としてコンセンサスを持って進めていくべきとの見解が示された。

#### 5. 研修検討委員会（プログラム等）

##### (1) 第5期委員会 委員交代について

江口担当理事（委員長）より、研修検討委員会（プログラム等）において、委員の変更があったことが報告され、承認された。

### Ⅲ. 報告事項

#### 1. 各種委員会報告

##### (1) 総務委員会

森理事より、第5期初回となる総務委員会を開催したことが報告された。第4期理事会からの申し送り事項であった役員報酬については検討する方向となり、今後長期的に審議していくこと、クラウドファンディングは当面の間進めないことが報告された。また、現在、専門医機構認定の基本領域専門医名称が広告可能となっていることが改めて説明され、基本領域の専門医認定の条件を協議したこと、プライバシーマーク申請の進捗についても報告された。

##### (2) 広報委員会

浅井理事（委員長）より、1月10日に記者懇談会を開催すること、当機構としてTwitterの運用を開始することが報告された。

##### (3) 専門研修プログラム委員会

宮崎担当理事より、臨床研究医コースの二次募集スケジュールについて検討していることが報告された。

##### (4) 研修検討委員会（プログラム等）

江口担当理事（委員長）より、専門研修プログラム委員会と研修検討委員会（プログラム等）の合同会議を開催したことが報告された。

##### (5) 専門医認定・更新委員会

森担当理事より、眼科専門医3名から休止申請が出ていること、専門医認定・更新委員会と共通講習委員会の合同委員会を開催したことが報告された。

##### (6) 共通講習委員会

木村担当理事より、公益財団法人日本医療機能評価機構から診療ガイドライン教育プログラムを共通講習とするよう申請があったが、医療安全の内容と不一致な点があるため、認めないことが報告された。

##### (7) 専門医検討委員会（認定・更新）

事務局より、専門医認定・更新委員会と専門医検討委員会（認定・更新）の合同委員会を開催したことが報告された。また、サブスペシャリティ領域の専門医認定・更新基準の提出期限を202

2年12月末までとして各連絡協議会に依頼していること、2023年に機構認定専門医への切り替えを予定していない領域には提出を急ぐ必要は無い旨通知していることが報告された。

#### (8) サブスペシャルティ領域検討委員会

滝田理事（委員長）より、サブスペシャルティ領域検討委員会にて、内分泌外科領域および感染症領域の整備基準の審査を行い、いずれもヒアリングの必要があると判断して調整中であることが報告された。また、サブスペシャルティ領域専門研修細則について、3年目を迎えて様々な課題が見えたことを踏まえて修正を進めていくことが報告された。

また、現在の混乱状況を解消するため、各領域学会への説明を進めていることが報告された。

#### (9) 総合診療専門医検討委員会

釜菴担当理事より、総合診療専門医検討委員会を行ったこと、内容は議事概要記載のとおりであることが報告された。

## 2. その他

#### (1) 厚生労働省令和4年度医療施設運営費等補助金交付申請について

福原理事より、厚生労働省令和4年度医療施設運営費等補助金について交付申請を行ったこと、現在厚生労働省において審査中であることが報告された。

#### (2) 内科学会、形成外科学会からの申入書に対する対応について

渡辺理事長より、内科学会から社員総会について再度の申入書、形成外科学会から事務連絡の不達について申入書があったことおよびそれぞれの対応と回答書について報告された。

また、事務局の業務が増大するなかで、ミスを防ぐ体制の構築を考えるべきであるという意見が出された。

#### (3) 職員担当表について

渡辺理事長より、各委員会の担当職員の一覧表が示された。

#### (4) 次回（11月21日）定例記者会見について

浅井理事（委員長）より、次回の定例記者会見を11月21日に開催すること、次第内容は来年度の専攻医募集・シーリングについて、および三重大学麻酔科に対するサイトビジットについてとすることが報告された。

## IV. その他

特になし

## 今後の会議予定

- ・第5期第7回理事会 2022年12月16日（金）16時00分～18時00分

以上